

平成 29 年 7 月 21 日

各 位

上場会社名	株式会社ドリコム
代表者	代表取締役社長 内藤 裕紀
(コード番号)	3793)
問合せ先責任者	取締役 後藤 英紀
(TEL)	03 - 6682 - 5700)

平成 30 年 3 月期第 1 四半期連結累計期間の連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、平成 29 年 5 月 10 日に公表いたしました平成 30 年 3 月期第 1 四半期連結累計期間の連結業績予想を下記のとおり修正いたしますので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 平成 30 年 3 月期第 1 四半期連結業績予想数値の修正 (平成 29 年 4 月 1 日～平成 29 年 6 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 四半期純利益 (※)
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	2,750	△100	△120	△100	△3.56
今回修正予想 (B)	2,570	34	17	△4	△0.14
増減額 (B-A)	△180	134	137	96	
増減率 (%)	△6.5	—	—	—	
(ご参考) 前期第 1 四半期実績 (平成 29 年 3 月期第 1 四半期)	1,750	233	222	115	4.21

※当社は、平成 29 年 4 月 1 日を効力発生日として 1 株につき 2 株の割合をもって株式分割を実施しているため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、前期の 1 株当たり四半期純利益を算出しております。

(2) 修正の理由

第 1 四半期会計期間 (平成 29 年 4 月 1 日～平成 29 年 6 月 30 日) に費用計上を想定していた 7 月初旬リリースの新規ゲームアプリの開発費用が、第 2 四半期会計期間 (平成 29 年 7 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日) での計上となりました。また、広告宣伝費については、ユーザー獲得状況に鑑みた機動的な判断の下、広告宣伝費を調整した結果、当初の見込み額を下回る見込みとなりました。以上の理由から費用が抑制された結果、営業利益、経常利益、及び親会社株主に帰属する四半期純利益が前回予想を上回る見通しとなりました。

売上につきましては、既存ゲームは総じて堅調な推移を維持したものの、先述のリリース時期変更の結果、リリース時に見込んでいた売上が未発生となり、前回予想を下回る見通しとなりました。

当社は IP ゲームに焦点を当てた戦略 (以下、IP 戦略) の旗下、新規 IP ゲームの開発・運用に注力しております。平成 30 年 3 月期中には 6 本～7 本の新規 IP ゲームアプリのリリースを目指しており、今後もリリースを予定している各ゲームアプリの確実なヒットを通じ、ソーシャルゲーム事業の拡大を目指して参ります。

以 上